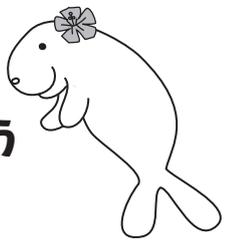


沖縄のジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナを守ろう



内閣総理大臣 菅 義偉 殿

2019年9月国際自然保護連合(IUCN)種の保存委員会・海牛目研究家グループが来日。ジュゴンBの死亡、A、Cの行方不明について、日本産ジュゴンの現状評価と対策を検討するワークショップを開きました。そして、「日本の第8番目の絶滅哺乳類となる恐れが極めて高い」などの評価をふまえて、地域住民への教育活動や広域調査などを日本政府や沖縄県に提案しました。このIUCN提案は環境省「西表島などでのジュゴン食み跡調査を行う」、防衛省「行方不明調査を沖縄島本島に広げる」などと両省を動かしました。早急な実行と、詳細な報告を求めます。

辺野古・大浦湾沿岸は生物多様性に富み、ジュゴンの餌場となる海草藻場が広く分布して、「ホープスポット(希望の海)」、世界で最も重要な海域の一つに認定されました。また、高江でのオスプレイ低空飛行訓練はノグチゲラやヤンバルクイナに影響を与えるなど絶滅危惧種の保全計画策定は立ち遅れています。政府は「やんばるの森」の2020年世界自然遺産登録の再申請を進めていますが、自然遺産登録を実現するためにも「森、川、海」の生態系の保全は重要です。そこで、以下のことを要請します。

(要請項目)

1. 絶滅危惧種である沖縄のジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナの保全計画を策定すること。
2. 辺野古新基地建設を中止すること。高江ヘリパッドへの米軍輸送機オスプレイ配備を中止すること。
3. 沖縄への外来種の侵入経路の管理を強化すること。

取扱い団体 ()

お名前	ご住所
	都道府県

呼びかけ団体：ジュゴン保護キャンペーンセンター (SDCC)、ジュゴン保護基金委員会

賛同団体：沖縄環境ネットワーク、海の生き物を守る会

署名集約先：ジュゴン保護キャンペーンセンター

署名の集約予定 2020年11月15日

〒534-0025 大阪府大阪市都島区片町2丁目9番21号 京橋ベース(旧野口ビル) 302号

TEL/FAX 06-6353-0514 ☆☆☆ 署名を他の目的には使用しません ☆☆☆

